

シルバー さつま Satsuma

2022
灼熱の夏
Vol.44

より良く生きるためにみんなで力を合わせていきましょう
人生の午後にデザインする場所

全戸配布まで

時間がないから急ごうぜ

1 自分のもの
として考える

自主

2 自分たちの力で
育てる

自立

3 一緒になって
働く

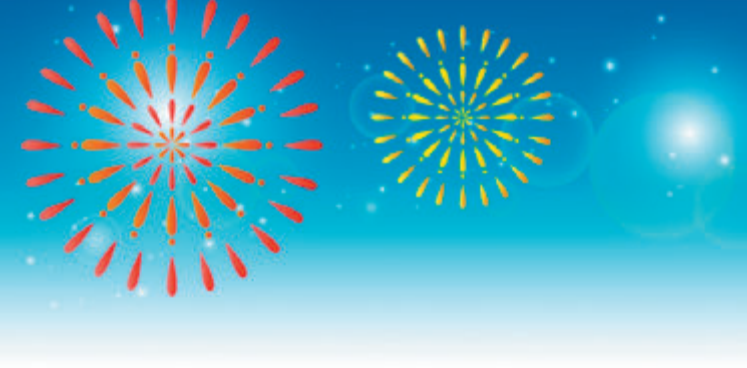
共働

4 互いに
助け合う

共助



公益社団法人さつま町シルバー人材センター



ーもくじー



「生きがい」とともに
生活の糧を求めて

3

定時総会・会員互助会総会

4

令和3年度 事業実績

5



シルバー人材センターの会員が
生徒寮で温かい料理を提供します。

6



さつシル解体新書

～事務局の仕事の中身～

8

第2次中期計画 進捗状況

9

さつまシルバー



10

お知らせ

11



表紙の写真



新型コロナの影響を受け、広報紙作成の工期の遅れから、色を塗ったり、文字を書いたりといった作業を、フィギュア会員の皆さんに手伝っていただきました。表紙の写真はその時の様子です。無事に全戸配布までに間に合いました。フィギュア会員の皆様には感謝しています。

2

「生きがい」とともに生活の糧を求めて



時代の変化に対応

長寿命と超高齢社会を迎え、シルバー事業にも変革が求められている。シルバー事業がスタートした当初は、生きがいづくりに重点が置かれていたものの、近年生きがいづくり以前に生活のための収入を得るためにシルバー人材センターに会員登録する60歳以上の町民が増えている。

このような、シルバー人材センター会員の変わりゆくニーズを的確に捉え、それに応え

「生きがい」の前に「生きる」ために



るべく体制を整えていくことが、シルバー事業の継続と発展には欠かせない。

シルバー人材センターにおいて収入を得る方法としては、町民から依頼のあった仕事を完成して配分金として受け取るものと、派遣労働者として仕事に従事し賃金として受け取るものが主流である。

ベストセラー「金持ち父さん・貧乏父さん」の著者ロバート・キヨサキ氏は、収入を得る方法として、大きく2つのカテゴリーに分けて紹介している。一つは、労働力を売る（時間を切り売りする）給与収入で、例えばサラリーマンや会社の社長である。もう一つは、権利収入で、例えば作曲家（著作権料）や投資家（株主配当金）などである。

収入の柱を複数持つ

シルバー人材センターでは、労働力や時間の切り売りとしての請負・派遣で収入を得るのが一般的であるが、権利収入的な収入を得ることも決して不可能ではない。シルバー人材センターの会員になったものの、町民からの依頼に対応できる会員ばかりではないことから、シルバー人材センターには「独自事業」という制度も準備されている。

これは、シルバー人材センターが自ら事業を起こして、そこに会員に従事させるもので、実際に行っている例としては、飲食店、包丁や草刈り機の刃などの刃物研ぎ、肥料の生産・販売などがある。独自事業には、危険なものや違法なものでない限り、その範囲に制限はない。当センターでも、年末に行われる暮れ市に「まごころの店」を出店し、不用品の持出し作業で出た、まだ使えるような品物を発注者の了解を得て引き取り、販売

している。そこでは、会員が店員として活躍している。

働く時間数に関わらず、生産物や作品、サービスなどを提供することで収入を得ることができるところから、この独自事業は、今後のシルバー事業の展開において大いなる可能性を秘めている。

60歳以上の町民が持っているさまざまなスキルやアイデアを存分に発揮する場がシルバー人材センターには用意されている。年金や労働に加えて、もう一つの収入の柱に据えることができるかもしれない。

ぜひ、活かしてみては。



定時総会・会員互助会総会



令和4年度定時総会と会員互助会総会を5月28日（土）、宮之城ひまわり館で開催しました。前回に引き続き、今回も役員、各種委員、地域班長及び会員互助会幹事といった出席者を限定して実施しました。また、来賓としてさつま町長上野俊市様、さつま町議会議長宮之脇尚美様、さつま町役場高齢者支援課長久保田春彦様、同課高齢者支援係長鶴森久美様のご出席を賜りました。

鞭轡直樹理事長の挨拶で開会し、上野町長と宮之脇町議会議長より、まちづくりに対する当センターの貢献への感謝のお言葉と今後の期待を込めたご挨拶をいただきました。

その後、定時総会の議事へと進み、今年も東郷順之会員を議長として、報告5件、議案2件の全ての案件について承認されました。

今回、役員（理事・監事）

の任期満了に伴い新たな役員の選任も行われ、新任、再任含め15名の新役員の顔ぶれも出揃いました。2年間、シルバー人材センターを牽引してまいりますので、町民の皆様にはお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

締めくくりとして福山桂

子副理事長の挨拶で定時総会は閉会しました。

定時総会に引き続き、会

員互助会総会を実施しました。徳永満義会長の開会の

挨拶の後、議事に移り、今回の議長は外園良幸会員が務めました。こちらも上程された議案は全て承認され、無事に閉幕しました。

順調に進む会の舞台裏ではちょっとした人間模様がありました。

定時総会・会員互助会総会当日に出席者に渡す仕出し弁当を、お忙しい公務で中座される来賓の方々にも

お渡ししたいという思いを抱きながら、事務局の女性職員は弁当の到着を今か今かと待ちわびていました。

土曜日で他の注文も多く入っていたのでしよう、なかなか到着しないこ

とに、ヤキモキしていました。

このように思った通りにならないこともあります。今年こそ、コロナに負けずに企画した行事が予定通り、安全に開催されることを期待しています。



新役員

理事長	ろくろ なおき 鞭轡 直樹（船木）
副理事長	ふくやま けいこ 福山 桂子（虎居）
常務理事	こしばえ ひろき 小椎八重 廣樹（宮之城屋地）
理事	くぼた はるひこ 久保田 春彦（町高齢者支援課長）
理事	とくなが みつよし 徳永 満義（虎居）
理事	おくた てつお 奥田 哲男（虎居）
理事	しもまきせ ひでし 下牧瀬 秀司（湯田・時吉）
理事	すみのの りょうじ 角之園 良治（佐志）
理事	かみむらひさし 上村 尚（山崎）
理事	ふくその みつお 福岡 三夫（紫陽）
理事	うちほり しげこ 内堀 茂子（鶴田）
理事	いまひがし ひでし 今東 秀嗣（薩摩）
理事	せんざき ともこ 先崎 朋子（薩摩）
監事	はしのぐち さちお 橋之口 幸男（宮之城屋地）
監事	さかもと みつあき 坂元 満秋（船木）

※（地域班名）

令和3年度

事業実績

(令和4年3月31日 現在)



男性

女性

合計

会員数
(対前年度比)

202名
(101%)

107名
(107%)

309名
(103%)

会員数は、いわばシルバー人材センターの体力を表すバロメーターのようなものです。令和3年度は、これまでに行ってきた会員会費規程の改定による入会条件の緩和やさまざまな普及啓発活動の効果が現れ、1年で会員数純増9名となりました。

全国的に会員数が減少するなかでの増加

シルバー人材センターにおいては、会員の拡大と就業の拡大を事業の両輪としていることから、増えつつある会員に対して、それぞれの経験や能力と希望に応じた仕事の提供に力を入れていかなくてはなりません。会員に対する就業機会の提供状況を示す就業率の向上に努めていきます。



請負事業



派遣事業



独自事業

契約金額
(対前年度比)

127,541,514円
(106.5%)

28,610,998円
(92.3%)

116,970名
(前年度中止)

受託件数
(対前年度比)

3,236件
(104%)

232件
(89.6%)

1件
(-)

就業延人員
(対前年度比)

21,991人
(103.2%)

5,429人
(93.7%)

61人
(-)

請負については、対前年度比で契約金額・受託件数ともに100%を超え順調に業績を伸ばしています。しかしながら、派遣については、契約金額・受託件数とも前年度の実績には達しませんでした。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響もありますが、徐々に社会経済活動が回復するなかで、町内の企業活動がコロナ禍前に戻ることも想定し、人手不足の企業に対して会員派遣の提案をするなど、派遣事業を行える団体としての能力を遺憾なく発揮していきます。

会員数が増える中であっても、会員一人一人と誠実に向き合い、それぞれの持つ経験や能力、就業についての希望を的確に把握し、町民や企業からの依頼とのマッチング力をさらに磨いていきます。



シルバー人材センターの会員が

生徒寮で**温かい料理**を提供します。



鹿児島県立薩摩中央高等学校

公益社団法人

さつま町シルバー人材センター



生徒の応援
はじめました

冷やし中華も
でるといいなあ



さつま町には歴史ある薩摩中央高校
があります。魅力ある高校づくりを
旗印に、平成17年から、町や関係機関
で構成された薩摩中央高等学校振興対
策協議会（薩中振対協）が中心となっ
て、さまざまな取り組みで支援を行っ
ています。その一環として、内閣府が主
催する「地域みらい留学365」の留
学先に名乗りを上げ、県内で唯一採択
されました。これは、高校2年の1年
間（365日）、親元を離れて他の高
校で学び、都会では味わえない体験や
出会いをその後の人生に活かしてもら
おうという取り組みです。

薩摩中央高校には生徒寮「紫雲寮」
があり、地域みらい留學生の受け入れ
先としての充実と、生徒からの「温か
いごはんが食べたい」といった声もあ
り、寮生の減少によって、昨年度まで
は食事がお弁当でしたが、今年度から、
「寮でも温かいご飯を食べてもらいた
い」という高校や薩中振対協の熱い思
いを支援するため、シルバー人材セン
ターの思いがマッチングし、会員4名
が朝食と夕食の調理に従事しています。
地元の若い芽を育てる高校が活性化
するための一助になることを願ってい
ます。

地域みらい留学365

未来を担う若き才能たち

令和4年度学校案内



高2 地域



毎日「ブログ」更新中！



近年の生徒数の減少に伴って、紫雲寮の寮生も減少し、これまで食事がお弁当の形式になっていました。栄養士さんの監修したメニューなので、栄養バランスはきちんと取れているのですが、やっぱり温かいごはんを食べたいという希望が生徒さんたちにはありました。

そんな中、新しい取り組みである「地域みらい留学365」の留学生を受け入れるために、寮生活においては食事が最も大事であるという考え方のもと、お弁当ではなく家庭的な温かい食事を提供しようと調理員を募集されました。

しかしながら、寮で食事を作って提供するのには、朝食と夕食の1日2回で、その間中抜けがあったり、実働時間が少なかつたりと、提示された条件に合う人材がなかなか集まらなかったそうです。そこで、さつま町役場の所管課の職員さんが当センターに相談にお見えになりました。

シルバー人材センターでは、作業に入る会員は登録制で、会員として登録すれば、自分の予定や都合が良ければ、短い時間でも仕事に入っていたただけるので、比較的柔軟な対応ができるのが魅力の一つになっています。

そこに、タイミングよく調理の仕事をしていただけた方々の入会が重なり、4名の会員に薩摩中央高校紫雲寮の調理業務に従事していただくことができました。

そして3月28日、さつま町役場企画政策課、調理員、栄養士、シルバー人材センター、高校のそれぞれの関係者が集まり、試食会を行いました。



メニューは、豆腐ハンバーグ、ほうれんそうとかぼちゃのサラダ、ごはん、わかめスープ、デザート（プリン）でした。

その日の調理を担当した会員は、現役時代プロの料理人として腕を振るってきた方です。

「とくにハンバーグが美味で、外側はパリッと中ジューシーでした」と、みなさん大変好評でした。

朝と夕方、寮で温かい料理が振る舞われるようになって3ヶ月、調理の会員さん

寮生たちも打ち解けてきたようです。

高校魅力化コー

ディネーターの升

澄子さんが「学

校で栽培している

トウモロコシを収

穫したので、寮で

も食べてほしい」と、調理員さんをお願い

したら、快く引き受けてくださり、生徒た

ちも大変喜んでくれました」と話してくだ

さいました。

調理員として従事されている会員の皆さんも、

「私たちは仕事としてやっているけれど、子どもたちの若さと爽やかさに触れて元氣

をもらっています。これからもおいしい料理を提供したい」と意気込みを語っ

てくれました。



高校魅力化コーディネーター 升 澄子さん

—ご紹介—

令和4年度から本町の「地域おこし協力隊」の「薩中魅力化コーディネーター」として活躍中！

～未来を食で支える～ ビストロシルバー

メニュー

- 豆腐ハンバーグ
- ほうれんそうと
かぼちゃのサラダ
- ごはん
- わかめスープ
- プリン
- 愛情（スペシャルスパイス）

「高齢者の就業」と「地域の困りごと解決」のニーズの架け橋になりたい。

さつシル解体新書

～事務局の仕事の中身～



ニーズ

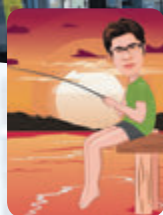
★人手不足で困ってます ★草が伸びてヤボになって… ★要らないものを処分したい ★襖を張り替えたい
★木を切ってほしい ★室内の掃除が自分でできなくなった ★病院受診の付き添いをお願いしたい
★庭木をきれいにそろえて欲しい ★壁の色が落ちてきたから塗ってほしい ★バスの運転ができる人はいないかな
★畑の草取りをしてほしい ★農作物の収穫を手伝ってほしい ★食器洗浄募集中！

町民・町内の企業・役場



さつま町

シルバー人材センター事務局



業務内容

町民・町内の企業・役場など、発注者のお困りごとの解決や仕事のご依頼に対してセンターがその内容を把握し、発注者の立場に立って解決方法やご依頼にお応えすべく、会員の中から適した人材を選びます。

会員の意向や経験、能力などを十分に踏まえたうえで、発注者からのお困りごとの解決やご依頼に取り組んでいただきます。両者のニーズがより近づくよう、センター事務局の職員が一丸となって誠心誠意、業務にあたっています。

シルバー人材センター会員

ニーズ

☆自分の用事がない空いた時間で仕事がしたい ☆いままでの経験を活かして管理の仕事をしたい ☆やったことがない新しいことにチャレンジしたい ☆自分の都合で入れる仕事はないのかな ☆仲間と和気あいあいと楽しく仕事がしたい ☆年金だけじゃ足りない ☆健康維持のために働きたい ☆まだまだ若い者には負けられません ☆自分のできる範囲での仕事はありますか ☆何もしてないのが嫌いです！



第2次中期計画 進捗状況

第2次中期計画とは

令和2年度からさつま町シルバー人材センターとして3年間のスパンで進むべき方向性を示す、いわば羅針盤的なものとして打ち出した計画です。大きく以下の6つの柱からなります。

- ①会員組織の整備と活性化
- ②事務局体制の整備と安定的な財政運営
- ③就業機会の開拓と創出及び確保
- ④安全・適正就業の確保
- ⑤関係機関との連携強化
- ⑥会員互助会の活性化



この項目に従って、時代に即した事業運営を持続していくために取り組むこととしました。

これまでの進捗状況を反映して今後の計画達成に向けての「戦力分析図」

総合力

7項目についての合計評価28ポイント。
その平均値を総合力とし、4.0ポイント。

就業機会の拡大（開拓・創出）

4.0ポイント

請負については、町民からの依頼を受け
る形で右肩上がりだが、派遣については
低調な推移を示している。独自事業によ
る新事業の創出にも期待。

事務局体制

4.0ポイント

定年退職などによりターンオーバー
（世代交代）が円滑に行われ、比較
的若い事務局職員の布陣もできつつ
ある。

安全就業

3.5ポイント

さまざまな取組みにより、会員
の安全に対する意識の醸成が進
んでいるものの、結実には至っ
ていない。

財政運営

3.5ポイント

これまで健全な財政運営を行っ
てきたが、今後インボイス制度
導入を控えて極めて不透明な状
況。

会員互助会

4.5ポイント

グラウンドゴルフ、ゴルフ、カラオ
ケ、女子会などの同好会が、コロナ
禍においても活動を行っており活気
がある。

会員組織

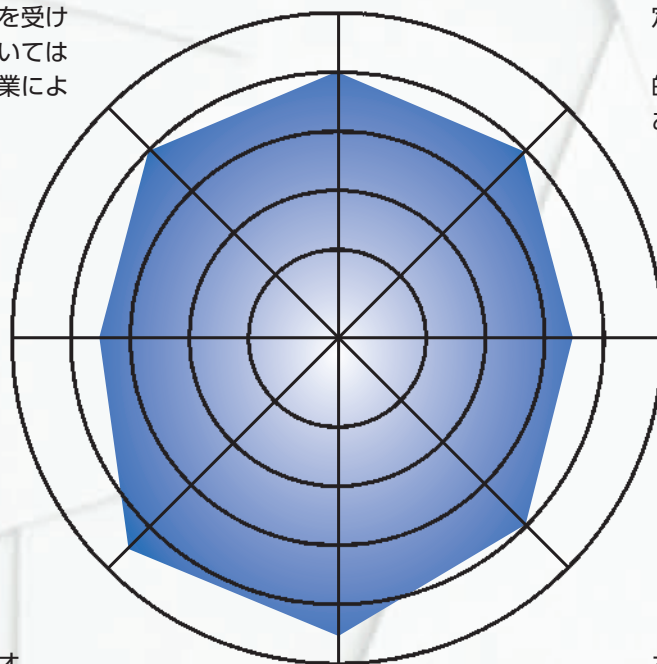
4.5ポイント

会員数の順調な伸びが計画を上回り、多
様な人材の入会で組織としても今後益々
厚みを増すことが期待できる。

関係機関との連携

4.0ポイント

さつま町役場、地域振興局などの公
共機関との連携により業務を推進し
ている。問題が起きた際にも連携を
密にし、解決に努めている。



会員募集!!

毎月第3火曜日 午前9時～定期入会説明会開催中！

8月16日・9月20日・10月18日・11月15日
12月20日・1月17日・2月21日・3月14日

(※令和5年3月の入会説明会は、第3火曜日が祝日のため、第2火曜日になります)



生け花教室



テーマソング練習



スマホ教室



グラウンドゴルフ



ハーバリウム作り



エステ体験会



其の壱

傾向 キオビエダシャクによる樹木への被害

昨年、大発生したキオビエダシャク。成虫はブルーやオレンジが鮮やかな蛾で、「きれいな蝶々だなあ」と思った方もいらっしゃることでしょう。しかし、これがとんだ食わせ者。幼虫の時期はシャクトリムシで、イヌマキ、ラカンマキ、ナギなどの葉を食害するのです。年数回発生し、幼虫は葉を全て食べ尽くして、木を枯らすこともあります。

生態としては、5～6月、7～8月、9～10月、11～12月の期間に出現し、蛾はイヌマキなどの樹皮の隙間や割れ目に産卵し、約10日でふ化して幼虫になります。幼虫の期間は約1ヵ月で、その後、地面に潜りさなぎとなります。さなぎの期間は約15日で、その後成虫となり2週間ほど生存します。

(さまざまな自治体が公表している情報を基に作成しております)

対策 効果的な薬剤で幼虫を駆除



下の写真を見かけたら、ご一報ください。

左の手配書に載っているムシを見かけましたら、まずは葉を揺さぶってみてください。糸を垂らして下がってきます。下に落ちたら捕殺するか焼却してください。もし、大量に発生している場合には、

シルバー人材センター (TEL 52-3363)

に連絡ください。効果的に殺すことのできる薬剤で駆除いたします。

なお、周りにイヌマキなどのあるお宅が複数ある場合は、ご近所とも相談されて、まとめて駆除されることをお勧めいたします。

※キオビエダシャクの他に、今年の初めシロツバメエダシャクという緑色に黒い線が入ったシャクトリムシの発生も確認しましたので、見かけたら同じくご一報ください。



其の弐

傾向 猛暑による熱中症



年々リスクが高まっている熱中症による健康被害。四季がある日本にとっては夏の暑さは避けて通ることのできない自然の与えた試練と言っても良いでしょう。近頃は屋外だけでなく屋内での熱中症も目立つようになり、救急搬送される事例も少なくありません。

対策 こまめな水分補給と暑さに負けない体づくり

熱中症の予防対策については、

- | | |
|---------------------|---------------|
| ①「水分」をこまめにとる | ⑥「室内」を涼しくする |
| ②「塩分」をほどよく取る | ⑦「衣服」を工夫する |
| ③「睡眠環境」を快適に保つ | ⑧「日差し」をよける |
| ④「丈夫な体」をつくる | ⑨「冷却グッズ」を活用する |
| ⑤「気温と湿度と熱中症指数」を気にする | ⑩「休憩」をこまめにとる |



以上の10項目を、とくに「 」内のワードで覚えて、意識しながら生活することをお勧めします。

「にんげんだもの」



今 年に入って、ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルスをめぐる給付金の不正受給詐欺、誤振込みとその返金拒否問題が世間を騒がせました。

また最近では、通信設備の不具合に端を発した社会的インフラの機能不全とその復旧の遅れが社会に衝撃を与えました。

こ れらに共通して言えることは、すべてに人間の意思が作用していることではないでしょうか。

偏った歴史観に基づき領土拡張に踏み切ったり、制度の脆弱さに付け込んで悪事の指南をしたり、業務の確認を怠ったり、不具合の情報発信を遅らせたり。故意過失を問わず、人間の意思によって引き起こされ、意図していなかった結果に周りの人間も巻き込まれています。

そ れらは一言で「ヒューマンエラー」と言えます。「すべきことをしなかった、またはすべきでないことをしたなどの人間の行為によって、意図しない結果が起こる」と定義することができます。このようないかなければ防げることができないのでしょうか。

や ってしまったことは元には戻せません。覆水盆に返らず (It's no use crying over spilt milk) です。ヒューマンエラーの防止策としてさまざまな議論がなされていますが、肝要なのは「先読みする力」を身につけることです。

シルバー人材センターでは、地域の高齢者に就業機会を提供する組織として、安全・安心な就業が一丁目一番地です。

せっかく良い仕事をして事故を起こしてしまつては何にもならないという取組みをシルバー人材センターの命題として行っています。なかなかゼロにはなりません。当センターでは、月に一度「安全パトロール」を実施していますが、昨年から現場の危険な箇所や危険な行動を観察し、注意を促すKYT（危険予知トレーニング）を取り入れました。

ルールを作つて守ることも重要ですが、人間の意思をフルに活用して「先読み力」に磨きをかけて、ノーエラーを目指しつつ、それでも、もし仮にエラーをしてしまつても責め過ぎずにみんなでカバーしていける環境を作っていきたいものです。

みつを

墓碑銘

在りし日を偲ぶ

今年2月25日に「空き缶アート教室」を開催し、空き缶の風車を作りました。

10名の受講生が参加し、講師を会員の三腰元氣さんが務めました。三腰さん監修の道具を使って、これまで飲みためたお酒のアルミ缶を風車に変身させました。三腰さんは、秘伝のコツを惜しげもなく親切丁寧に受講生の皆さんに伝授していました。

最初のうちは、なかなかうまくいかなかったのが次第にコツをつかんで最後には立派な作品を仕上げていました。その様子を三腰さんも満足そうに眺めていました。



そんな三腰さんでしたが、4月11日、この世を去られました。これからは三腰さんの技を受け継いだ受講生の方々に講師になっていただき、この教室が回を重ねることを三腰さんも望んでいることだと思います。

三腰元氣さん、ありがとうございました。心からご冥福をお祈りいたします。

編集後記

3年目に入ったコロナ禍に追い打ちをかけるように世界では世情不安な様相を呈しています。決して対岸の火事ではなく物価の上昇や食糧不足など、少なからず私たち日本人も影響を受けています。何よりも、多くの尊い命の犠牲を目の当たりにして、とても心が痛みます。戦後の国際社会における秩序維持の枠組みにも限界が見え始め、国連の見直しなど改革を求める声も上がっています。私たちさつま町シルバー人材センターにおいては、時代の変化を見極め、方向性を定めた第二次中期計画を立て、持続可能な組織体制の整備をはじめ、さまざまな取組みを行っています。3カ年計画の最終年をしっかりとした結果で締めくくることができるよう努めたいと思います。



広報委員会一同

2022 灼熱の夏 Vol.44

発行／公益社団法人さつま町シルバー人材センター広報委員会

〒895-1803 鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋敷737

TEL 0996-52-3363 FAX 0996-52-1181

安全就業 全国統一 スローガン

いつまでも 働く喜び 無事故から

2022年7月1日発行 通巻第44号

